



# 国際協力

No.49 2016.10.1

JICA 駒ヶ根

## 2016年度 教師海外研修

長野県からも2名が参加!  
今年はタイとモンゴルへ



JICA駒ヶ根では、毎年夏休み期間を利用した「教師海外研修」を実施しております。

2016年度はJICA東京との共催で、関東信越の1都5県より

20名の教員が参加しています。長野県からは今年度2名の現役教員が選抜され、タイ、モンゴルの2コースに分かれてそれぞれ10日間の海外研修を行いました。

「広い世界のことを子どもたちに話したいけれど、実体験に基づかないで話すことは難しい」と、教員の皆様からのお話をよく耳にします。この研修では、実際に世界へ飛び出し、活きた学びをしていただけます。現地で活動する協力隊員が働く学校やJICAの事業地など、通常の企画旅行では入れないような現場を見学できることや、JICAを通して「現地の人」の生の声を聞くことができるのも特徴です。

海外研修に先立ち1泊2日で行われる国内での事前研修では、子どもたちにどうやって経験を伝えるか、そのポイント

や手法を学びます。

帰国後研修では実際に授業計画を立て、秋から冬にかけてそれぞれの学校で数コマの実践授業を行っていただいております。

12月にJICA駒ヶ根で行われる「信州グローバルセミナー」では、研修報告をしていただき、世界で学んだことを皆様にシェアしていただけます。こちらは高校生以上のどなたでも聴講可能です!

本当のグローバル社会とは何か、その中でどう生きてい



たらよいか、先生自身が気づき、子どもたちを目覚めさせる起爆剤となるような研修です。

教師海外研修の募集は毎年4~5月に行われます。県内にお住いの教員の皆様、来年度ぜひご応募いただき、世界への扉を開いてみませんか?

お問い合わせは、JICA駒ヶ根 開発教育担当 (0265-82-6151)まで。

### 参加者の声

#### 【タイコース参加】

長野県中野西高等学校  
宮澤 まどか 先生

花や装飾品で囲まれた仏像、カメラを向ければすぐに笑顔になる子どもたち、カラフルな食材、私が見たタイはとても明るい国でした。そんなタイで見つけた“as a token of friendship and cooperation”、「タイと日本の、友情と協力の証」という言葉。JICAが支援した、ある施設内に飾られていたプレートに書かれていた言葉です。支援の裏には必ず“友情”関係が存在するのだということ、この言葉で考えさせられました。国際支援とはどうあるべきか、生徒にしっかり考えさせたいと改めて決意した研修でした。



#### 【モンゴルコース参加】

小谷村立小谷小学校  
川尻 年輝 先生

モンゴリアンブルーと呼ばれるどこまでも青い空。広い草原の下、のんびりと草を頬張る野生馬や牛、羊たち…。モンゴルの大自然に触れ、地球の大きさや偉大さを肌で感じられました。

立山黒部アルペンルートで活躍する「トローリーバス」が首都ウランバートルでも走っていたり、善光寺とそっくりなガンダン寺があったり、モンゴル人の顔立ちが日本人にそっくりであったりと共通点がたくさん見つかりました。とても親日家である人々の優しさに触れ、モンゴル国が大好きになりました。



# 2016年度JICAボランティア 秋募集中です！

(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)

JICAボランティア(青年海外協力隊・シニア海外ボランティア)の秋募集期間は9月30日から11月4日です。長野県内では、9月下旬から10月中旬にかけて、募集説明会が行われています。

10月16日(日)には、駒ヶ根青年海外協力隊訓練所で一日体験入隊が行われます。今回の一日体験入隊では「応募用紙の添削指導」「模擬面接」等のプログラムで、本気でJICAボランティアを目指したいあなたをバックアップします！

他にも、派遣中の青年海外協力隊員とskype交信、語学セミナーにご参加いただけます。

●10月16日(日) 午前10時～午後5時 駒ヶ根青年海外協力隊訓練所(一日体験入隊)  
 ※事前申し込み必要・先着順。詳しくはJICA駒ヶ根のホームページへ

## シリーズ 世界から、地域で活躍！ 信州で活躍する元協力隊員に聞きました。

今回は、新しい長野県OB会長と駒ヶ根市の企業に働く方々です！



長野市在住  
 平成15年度2次隊  
 派遣国：ガーナ  
 職種：理数科教師  
 出身：長野市

### Q1：協力隊員となったきっかけは？

大学院の入試に合格したものの、このまま化学を専門にして研究者として生きていくことがよieldらうかと考え直し、化学物質ではなく人間を相手に人生を過ごしていきたいと考えていたところ、大学院入試の前に友人が言っていた「青年海外協力隊もいいな。」という言葉の思い出し、協力隊試験を受けることを決意しました。

### Q2：派遣国での活動や生活はいかがでしたか？



ガーナで活動中の杉田さん

大学卒業後すぐ協力隊に参加しガーナに行ったので、適応能力もありましたし、「こういうものだな。」と特に何も疑問に思わず暮らしていましたので、不平不満はぶつくさ言っていました。そんな大変というわけではなかったです。

### Q3：現在の活動について教えてください。

現在は、塾講師をしながら、ほかにIT関連の仕事もしています。協力隊では理数科教師として活動しましたが、教職資格は持っていなかったため、実際のレッスンプランの作り方などは訓練や先輩隊員から学び非常に勉強になりました。

### Q4：長野県OB会の新しい会長に就任されて、抱負をお願いします。

協力隊から帰ってきて、北信理事、副会長と10年以上OB会に携わってきました。最初にOB会総会に出席したときに「JOCAってなんだ？」とか、ほかにも「？」だらけだったものが、少しずつ分かるようになってきましたが、いまだによくわからないこともあります。OB会の活動に多くのOBが継続して携わることがなかなか出来ない要因の一つに『分かりづらい。』ということがあると思いますので、今後は分かりやすいOB会にしていきたいと思っています。



塾で教鞭をとっている杉田さん



駒ヶ根市在住  
 平成20年度3次隊  
 派遣国：カンボジア  
 職種：環境教育  
 出身：愛知県

### Q1：協力隊員となったきっかけは？

一番は、人間として成長の機会を得たいと思ったことです。社会人3年目、家族の介護と看取りを経験し、仕事と家庭のバランスに悩んでいました。また、当時の出会いの中から、自分の視野の狭さに気づき、人として大きくなりたいと想っていました。そんな中、電車のつり革広告で協力隊を知り、説明会で先輩の話聞いて、挑戦しようと決めました。

### Q2：派遣国での活動や生活はいかがでしたか？

カンボジアでの活動や生活は、大変ことが多かったが、振り返ってみると、とても良い思い出ばかりです。

最初は活動も生活も上手いかず、失敗続きだったが、人と出会い学ぶことを繰り返していったところ、色んな人が手を差し伸べてくれて、少しずつ前に進んでいきました。相手の考えや文化を尊重できる心のゆとりが生まれた時、色んなことが好転しました。

### Q3：現在の活動について教えてください。

環境系の企業で働き、東南アジア展開を目標にしています。農業で出た残渣物を工業や農業の資材に変える製造業に従事しています。2016年の2月にJICA駒ヶ根民間連携事業の視察調査団にて、インドネシアを調査訪問させてもらうことができました。

日本での事業を成長させながら、海外展開を実現するのが現在の目標です。

### Q4：協力隊の経験がどう生きていますか？

問題に対して向き合う姿勢や人と人の縁をととても大切にするようになりました。仕事であれば、自分のものを押し付けるのではなく、必ず相手に対する敬意を持って関わることになっています。問題が起こった時ほど丁寧に向き合うなど、カンボジアで苦難を乗り越えた経験を想いながら日々取り組んでいます。



同期の隊員が働く学校で、コンポストの実習授業を実施



インドネシア視察団と一緒に

# イベント・レポート

Event Report



7/29

## 2016年度 第2回帰国報告会を行いました!

駒ヶ根訓練所にて今年度第2回青年海外協力隊帰国報告会を開催しました。一般参加者や訓練生を含む50名を超える聴講者がありました。報告者は6月末から7月上旬に帰国されて間もない、以下5名の帰国ボランティアのみなさん。各国での生活の様子や活動における困難とそれをどう克服したのか、等を発表されました。

名前	山本あゆみさん 松本市勤務	松田香葉絵さん 山ノ内町出身	荒井里佳子さん 長野市出身	中平友彦さん 飯田市出身	小山実央さん 長和町出身
派遣国	エクアドル	ルワンダ	ベネズエラ	フィジー	カンボジア
職種	青少年活動	野菜栽培	林業・森林保全	環境教育	小学校教育



8/28

## 第12回 クロスカルチャーデー in KOMAGANEを開催



このイベントは海外からのゲストを駒ヶ根に招待し、駒ヶ根のいい所をたくさん味わっていただき、「国際協力の町 駒ヶ根市」を広めようと、地元の方々と実行委員会を作り、実施しているイベントです。

今回は、メキシコ、チリ、パラグアイ、ブルキナファソ、コートジボワール、カメルーンの合計6か国から16名のゲストと公民館でスペイン語を学んでいる地域の方々、現在駒ヶ根訓練所で訓練を行っているボランティア候補者とを合わせて総勢約50名で開催しました。

イベントは駒ヶ根高原の家族旅行村にて開催し、パターゴルフや魚つかみ、餅つきを行いました。昼食には魚つかみで捕まえたマスの塩焼きをはじめとして、地元の食材を使用した料理と出来立てのお餅を囲んで、国際交流することができました。ボランティア候補者は、主に訓練言語を駆使して、市民の方々と海外ゲストの交流の橋渡しをしていました。

駒ヶ根市は、季節に応じて様々な表情を持っておりますので、地域の方々と連携・協力して、今後も素晴らしいイベントを行ってほしいと思います。次回は、11月に開催予定です。

9/25

## 第4回信州駒ヶ根ハーフマラソン

今年も信州駒ヶ根ハーフマラソンに青年海外協力隊経験者が走りました。

駒ヶ根青年海外協力隊訓練所では、昨年、青年海外協力隊50周年を記念し、第3回信州駒ヶ根ハーフマラソンで「特別ゼッケン」をつけた協力隊経験者が走りました。

昨年の参加者からの熱いリクエストにより、今年も9月25日に実施した「第4回信州駒ヶ根ハーフマラソン」に、51名の協力隊経験者が、派遣国の国旗がデザインされた特別ゼッケンを背中につけて、駒ヶ根の街を走りました。参加者の一人は「ゼッケンとともに届いた駒ヶ根の子供たちからのメッセージや沿道からの市民の暖かい声援に感動した」との感想をいただきました。

また今回の大会では、北は北海道、南は広島から多くの協力隊経験者に参加いただき、40名を超える方が前日訓練所に宿泊されて、夕食を兼ねた事前交流会を実施し、OB同士の交流を深める機会にもなりました。



## JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト2015の副賞 マレーシアへの研修旅行が7月25日～30日まで行われました。



最優秀賞を受賞した柿田穂香さん(伊那北高校)と審査員特別賞を受賞された深田朝日子さん(長野清泉女学院高校)が参加され、柿田穂香さんに旅行の感想をお聞きました。

**Q:エッセイを書いた時とマレーシアに行ってきた今では、何か気持ちが変わりましたか?**

エッセイを書いたときは、ネパールのために募金しなきゃ、助けなきゃと思っていた。マレーシアは発展途上国と聞いていて深刻な状況なのかなと思っていたけど、クアラルンプールはすごい都会でびっくりした。人も穏やかでのんびりしていて、思ったより過ごしやすかった。マレーシアは何年か経った後にまた行って、変化を見てみたい。

**Q:アロスターという地方都市を訪れた時に、小中学校も訪問したそうですね。**

小中学校を訪問した時、ゆかたを着て行った。私たちの訪問のために文化祭のようなものを開いてくれて、さらに記念に植林もした。いつかその植林を見に行きたい。

マレー系、中華系、インド系で小学校は分かれていて、中学校から一

緒に教育を受けている。中華系、インド系は教育熱心で、マレー系はのんびり。それなのに、中学校でもそれぞれの民族に固まっている。お互いが文化を尊重するために、ほどよく距離をとっているのかなと思った。アロスターでは、ODAの事業で、ごみ処理場を訪れた。そこにも協力隊員が働いていたし、教育庁にも協力隊員が働いていた。

**Q:将来の夢は?**

あまり海外に進出したいとは今のところ考えていない。なんとなく医療系の仕事に携わりたいと思っている。今回の経験をして、また海外に旅行してみたいと思った。暖かいところに行ったので、今度は寒いところに行ってみよう。

一緒に行った10人の仲間たちとは、エッセイコンテストの表彰式で顔を合わせ、今回の旅で更に仲良くなったそうです。この旅を通して、海外に目を向けることにもなったそうです。

エッセイコンテストの募集は、毎年6月～9月です。多くの皆さんの応募をお待ちしております。

# 草の根技術協力事業

## ●ネパールの母子保健研修員が駒ヶ根市で研修しました。

8月下旬から9月中旬にかけて、ネパール・ポカラ市の母子保健研修員9名が駒ヶ根市を訪れ、長野県立看護大学や市の地域保健課が実施している母親学級の内容、市内の助産院や新生児宅訪問など、日本の産前産後ケアの取り組みを学びました。

ネパールでは妊婦の定期検診やケアの手法が確立されていないため、地域住民や家族、妊産婦の産前産後ケア知識と技術の改善、妊産婦への接遇改善などを支援するため駒ヶ根市から草の根技術協力事業が提案されました。

修了式で挨拶したポカラ・駒ヶ根母子友好病院院長のラジ・パンゲニ・プレム院長は「研修の成果をすぐに

ネパールの母子保健の改善に役立てたい」と話し、駒ヶ根市民から「頑張ってください」と激励されていました。

JICA駒ヶ根で実施中の草の根技術協力事業は

- 南牧村:安全農業技術をフィリピンへ
- 佐久穂町:高齢者ケアの仕組みをスリランカへ
- 佐久市:高齢者ケアの仕組みをタイへ

ほか、3件の事業が実施に向け準備中です。

長野県の知見を活かした草の根技術協力事業はアイデア段階からお気軽にご相談いただけます。



修了証を手にした研修員たち

# JICA駒ヶ根 中小企業海外展開支援

## 長野県内の各機関でJICAの中小企業海外展開支援事業を紹介させていただきます。



JICA 事業紹介の様子

2012年から開始されたJICAの中小企業海外展開支援事業。長野県内でもこれまで各地で事業の紹介セミナーを実施させていただき、現在、県内の中小企業4社に支援事業を活用いただいています。

しかしながら、JICAが中小企業の途上国への展開を支援していることについて、県内の企業の皆様にはまだまだ知られておりません。

そこで、JICA駒ヶ根では日頃から中小企業の方々への支援に携わっている県内の金融機関、商工会議所や商工会をはじめとする中小企業支援機関にお伺いし、ス

タッフの皆様に向けたJICA中小企業海外展開支援事業紹介もさせていただいております。

2015年度は2つの金融機関と1つの中小企業支援機関のスタッフ勉強会にお伺いし、紹介させていただきました。また今年度もこの秋に2つの中小企業支援機関のスタッフ勉強会にお伺いすることを予定しています。

今後もJICA駒ヶ根では、ご要望があれば県内各地の金融機関、中小企業支援機関にお伺いし、JICAの事業紹介や中小企業の実施事例紹介をさせていただきますので、お気軽にご相談ください。

# JICA長野デスクの窓から♪

## 信州国際塾「青年海外協力隊展in信州&出張! JICA地球ひろば」

9/22(木・祝)、駅ビルMIDORIIに於いて「信州国際塾」が行われました。

今回は青年海外協力隊にフォーカスした展示で、国際協力の実際と目的、帰国後の活動などについてご紹介しました。

県内在住OB・OGが11名集まり、それぞれが持ち寄った世界の食べ物の試食試飲を提供しながら、自身の体験などを話していました。



今回協力いただいたOB・OG

協力隊に関心のある方や参加を考えている方も多数来場されました。「なぜ協力隊に参加したんですか?」「行ってよかったですか?」など、OB・

OGに質問する場面もありました。

また、地球ひろばから体験型展示が出張しました。展示の中にヒントが隠されたクイズも大好評。全問正解すると景品がもらえます。分からない問題はOB・OGに質問し、楽しいコミュニケーションも生まれました。

「日本がかつて、諸外国から支援を受けていたなんて知らなかった。」「そのおかげで今の日本があるんですね。みなさんご恩返しの意味

もあって海外で活動していたんですね。」など、協力隊の意義や活動に深い理解を得られたイベントとなりました。

祝日ということもあり、多くのご来場者をお迎えできました!

お越しいただいた皆様、お手伝いいただいたOB・OGの皆様、どうもありがとうございました!



派遣国の手作りお菓子を無料提供



大勢のご来場がありました

**協力隊員 現地レポート**  
from **パラグアイ**  
なかの **中野 純平さん**  
平成27年度2次隊  
職種: 重量挙げ  
松本市出身



連盟会員・選手との集合写真

2016年10月よりパラグアイに派遣され、パラグアイ重量挙げ連盟で働いています。着任までは果たして選手がいるのか、練習道具はあるのかなど不安でした。いざ練習場に行ってみると数名の選手が練習しており、道具もある程度

度はありホッとしたのを覚えています。配属先からの要望は選手の強化と普及ということで、日頃は選手の練習メニューを作ったり指導に励んでいます。自分が着

任してから、10代前半の子供も練習を始めたりと少しずつけど選手数も増えています。選手からは、「こんなきついメニューを作るなんて悪い奴だ!」と、よく言われます。それでもちゃんと練習するので、自慢の可愛い選手たちです。



南米大会のアップ会場

コーチをして一番うれしいのは選手のベスト記録が伸びた時です。記録が伸びた時に、もう大会で優勝したんじゃないかってくらい喜んでる選手と一緒に抱き合って喜びあっています。

写真は4月にブラジルで行われた大会に引率した際のもので、パラグアイの選手を南米大会で通用するレベルまで引き上げるというのが私の2年間の目標です。残りの任期もあと1年なので引き続き選手とともに成長していきたいと思えます。目指せパラグアイから東京五輪出場!!

# 帰国したJICAボランティアの方

2年間の活動  
お疲れ様でした!!



平成26年度1次隊  
やまもと **山本 あゆみさん**  
(松本市) ●派遣国: エクアドル  
●職種: 青少年活動

エクアドルの山岳地方、標高2,500mにあるアンデス山脈の中の美しい世界遺産の街、クエンカの子どもたちと2年間活動してきました。



バスケットボール講座

配属先は「ジェファソン・ペレス基金」という、元オリンピック競歩金メダリストが労働児童・青少年の根絶を目指して設立した団体で、登録児童向けの講座やイベントの企画、実施が私の任務でした。

毎日元気いっぱい集まって来る子どもたちに、バスケット

ボールや工作を教えたり、学校生活のお話を聞いたり、休日には保護者も招いて、クリスマス会、子どもの日などのイベントを開催しました。また、折り紙や書道を体験したり、簡単な日本食を作って食べたり、日本文化に触れられる機会もたくさん取り入れました。



母の日のプレゼントのお花づくり

壁にぶつかることもたくさんありましたが、いつでも明るいエクアドル人のホストファミリーや同僚、友達、それから子どもたちに救われた2年間でした。

クエンカの街は急速に発展しており、子どもたちを取り巻く社会環境、家庭環境も大きく変化しています。そんな中、たくましく生きている彼らの未来に、この施設での経験が少しでも良い影響を与えられたら嬉しいなあ、と思っています。

## 長野県出身 新ボランティア

2016年度 第2次隊(3名) **行ってきます!!**

青年海外協力隊



なかざわ **中澤 るみさん** (茅野市) 派遣国: ブータン 職種: 看護師  
ブータンの国立病院で透析看護に携わります。彼らの文化を肌で感じ、一緒に課題を見出し、目標に向かっていいモチベーションで取り組めるお手伝いができたらと思っています。2年間、共に成長していきたいです。

青年海外協力隊



あぜがみ あい か 派遣国: カメルーン 職種: 幼児教育  
**畔上 愛花さん** (野沢温泉村) 職種: 幼児教育  
初めて踏むアフリカの地。どんな人たち、そして子どもたちと出会うのでしょ。任国では主に幼稚園を巡回しながら図画工作や遊戯、音楽などの情操育成教育を現地教員と協働活動していく予定です。沢山の人と繋がりを作りながら、自分にできることを精いっぱい行い、多くのことを学びたいです。



みやばやし はるか 派遣国: ラオス 職種: 助産師  
**宮林 春佳さん** (千曲市) 職種: 助産師  
助産師として働く中で、家族みんなが笑顔のお産に会う度幸せでした。ラオスで、一つでも多くの家族にとって妊娠・出産・育児が幸せなものとなるよう活動し、学びながら助産師として、人として成長したいと思えます。

## 第23回 みなこいワールドフェスタ

『「ひと・まち・せかい」がにつながる～協力隊とともに歩む、国際協力～』

日時: 2016年10月16日(日)～23日(日)

実施場所: 駒ヶ根市広小路・銀座商店街・その他伊南地域各所

駒ヶ根市の市民の皆さまとのイベントです。地域の皆さんに、「食べる、遊ぶ、感じる、楽しむ」を堪能してもらい、JICAボランティア、帰国ボランティア、伊南地域の外国籍住民の方々と一緒に地域の魅力を共有したいと思います。

最終日10月23日には、こまがね国際広場が開催されます。世界の様々なお料理が楽しめるワールド屋台や、世界の色々な物が販売されるワールドブースなどなど、楽しい企画が盛り沢山です。皆様のご参加をお待ちしております!



# Information

JICA駒ヶ根  
インフォメーション

## 派遣前訓練公開講座

参加は無料ですが、事前にお申込が必要です。

- ▶ JICA事業概要**  
 内容：JICAの目的・機構・歩み・現状などの事業概要  
 10月12日(水) 15:10～16:00  
 定員：10名 講師：青年海外協力隊事務局 職員
- ▶ JICAボランティア事業の理念と目標**  
 内容：JICAボランティア事業の概要及びその活動  
 10月24日(月) 15:10～17:00  
 定員：10名 講師：小川 登志夫 事務局長 (青年海外協力隊事務局)
- ▶ 映画「クロスロード」上映会**  
 内容：カメラマン助手になったものの、目標の見えない日々を過ごしていた沢田 (黒木啓司) は、自分を変えようと青年海外協力隊に飛び込むが…  
 10月29日(土) 15:10～17:00  
 定員：20名

公開講座とは…JICAボランティアの派遣前訓練で実施している各種講座を一般の方にも公開しているものです。会場はすべて駒ヶ根青年海外協力隊訓練所です。

- ▶ 国際関係と日本の国際協力**  
 内容：日本の援助の歴史、概略、現状を理解する  
 11月9日(水) 15:10～17:00  
 定員：10名 講師：廣野 良吉 氏 (成蹊大学 名誉教授)
- ▶ 異文化適応概論**  
 内容：文化とは何か、理解とは何か、カルチャーショックとは何か、適応とはどういふことかななどの異文化に入っていくにあたっての心構えを説く。  
 11月17日(木) 15:10～17:00  
 定員：10名 講師：関谷雄一氏 (東京大学大学院 総合文化研究科 准教授)
- ▶ 地球のステージ(コンサート)**  
 内容：途上国で巡り合った人々との交流を映像と音楽そして語りで表現する「映像と音楽のシンクロ」ステージ。貧困生活の現状や紛争地域での子供たちの明るくたくましい姿などを映し出しながら、桑山氏自身の経験、ボランティア観を表現する。  
 11月23日(水) 15:10～17:00  
 定員：50名 講師：桑山 紀彦 氏 (地球のステージ事務局)

※講師の都合等で実施日が変更になる場合がありますので、ホームページでご確認ください。  
 ホームページ <http://www.jica.go.jp/komagane/event/index.html>

## 受講者受付中

### 国際理解教育指導者セミナー

「信州発グローバル教育～参加型で実践!国際理解をもっと身近に～」

国際理解の授業をこれからやりたい、やってはいるものものもつとブラッシュアップしたい、参加型・協働型の手法を取り入れたい、とお考えの先生方にご参加いただきたいセミナーです。今年は、講師としてNIED・国際理解教育センター伊沢玲子氏にお出でいただきます。

今年も長野県教育委員会にご共催いただき、会場は総合教育センターです。今年度は、青年海外協力隊現職参加教員による体験談を聞く機会があります。

**日程** 1日目 11/18(金) 13:00～20:00頃(懇親会を含む)  
 2日目 11/19(土) 9:00～17:00 ※2日間の連続講座

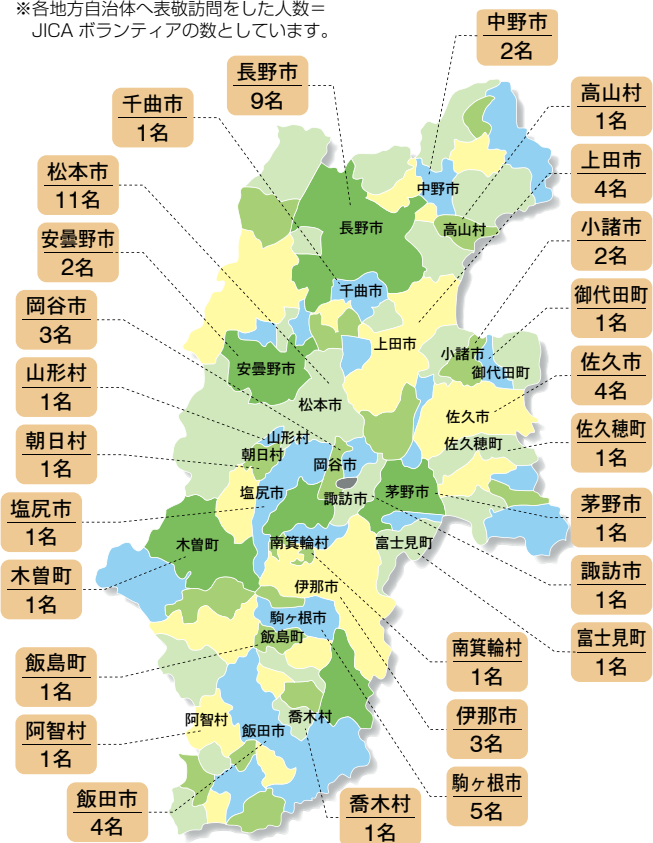
- 会場**：長野県総合教育センター
- 対象**：長野県内で国際理解の授業を実践している、または実践する予定の小・中学校、高校の教員  
 ※2日間すべてのプログラムにご参加できる方を優先いたします。
- 参加費**：1,500円(1日目の懇親会費として)  
 ※総合教育センターへ宿泊される場合は1,100円追加。
- 内容**：導入、自己紹介、アイスブレイキング、国際理解ワークショップ体験、)参加者間の実践報告、共有、学習プログラムづくり、参加型の学習プログラムについて、意見交換、ふりかえりと今後の実践について、青年海外協力隊現職参加教員による体験談。

お問い合わせ・お申込みは JICA駒ヶ根 担当/岡田まで

## 派遣中JICAボランティア

(平成28年7月31日現在)

※各地方自治体へ表敬訪問をした人数＝JICAボランティアの数としています。



## 長野県関係者 JICAボランティア派遣実績

平成28年7月31日現在

- |                                  |                                   |
|----------------------------------|-----------------------------------|
| ①青年海外協力隊員<br>派遣中 50名<br>累計 972名  | ③日系社会青年ボランティア<br>派遣中 2名<br>累計 25名 |
| ②シニア海外ボランティア<br>派遣中 3名<br>累計 76名 | ④日系社会シニアボランティア<br>派遣中 1名<br>累計 5名 |

## 新スタッフ



おおにし ちさと  
**大西知里**

6月1日より勤務しております。主に経理、調達関係の担当をしております。地元の駒ヶ根出身で、訓練所には以前3年ほどお世話になりました。今回、美しい自然に囲まれた駒ヶ根訓練所で再び国際協力事業に関わる仕事ができることを幸せに感じております。経験を生かし、ベストを尽くしていきたいと思っております。よろしくお願いいたします。

発行 独立行政法人 国際協力機構  
駒ヶ根青年海外協力隊訓練所

〒399-4117 長野県駒ヶ根市赤穂15  
 TEL.0265-82-6151(代) FAX.0265-82-5336  
 E-mail [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp)  
<http://www.jica.go.jp/komagane/index.html>

JICA駒ヶ根 facebook ページを開設!  
<https://www.facebook.com/jicakomagane>

JICA駒ヶ根 メールマガジン  
 配信希望の方は [jicakjv@jica.go.jp](mailto:jicakjv@jica.go.jp)  
 までメールでご連絡ください!

JICA駒ヶ根では毎月1回メールマガジンを配信しています。県内の国際協力に関する動きやイベントなど、耳よりな情報をリアルタイムでお届けします。